

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(9月分)について

2024年9月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	12,886,767	8,463,830	152.3%	16,679,467	77.3%
国内旅行	14,913,812	13,441,750	111.0%	13,577,651	109.8%
訪日旅行	373,425	219,413	170.2%	251,252	148.6%
合計	28,174,004	22,124,993	127.3%	30,508,370	92.3%

【概況】

9月の営業概況は、総取扱額281億7,400万4千円、2019年同月比で92.3%、前年同期比では127.3%となりました。

海外旅行は、9月の出国日本人数が2019年比69.2%と前月から1.1ポイント増にとどまり、回復基調にはあるものの市場の動きは未だ緩慢です。こうした中、当社では需要を喚起するアジアのキャンペーン商品を投入するとともに、全国でトルコのテレビ通販を実施するなど、募集告知を強化しました。その結果、リゾートホテル滞在型のバリ島や、タイが好調に推移したほか、トルコが2019年同月比で3倍の集客となり大きく伸長しました。

海外旅行全体の取扱高では、2019年同月比で77.3%、前年同月比では、152.3%となり、回復が進んでいます。

国内旅行は、物価高による個人消費の足踏みがみられる中、家計調査では国内パック旅行費が前年同月を下回るなど、やや需要の鈍化が見られました。

こうした中、当社では、トラピックス 35 周年の記念商品を販売するとともに、全国で秋の北海道商品のテレビ通販を実施するなど積極的な募集告知を行いました。その結果、北海道と東北の初秋の絶景を楽しむ周遊ツアーや沖縄のフリープランが伸長しました。

国内旅行の取扱高は、前年度同月比 111.0%、2019 年度同月比では 109.8%となり、好調に推移しました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年 同月取扱高	2019 年 同月比
海外旅行	2,640,638	2,923,248	90.3%	3,484,653	75.8%
国内旅行	157,451	173,906	90.5%	242,956	64.8%
訪日旅行	32,505	8,946	363.3%	11,904	273.1%
合 計	2,830,595	3,106,101	91.1%	3,739,515	75.7%

※前年および 2019 年度同月取扱高は、阪神トラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2 社内取引を相殺したものです。

【概況】

9 月の営業概況は、総取扱額 28 億 3,059 万 5 千円、前年同月比 91.1%、2019 年同月比では 75.7%となりました。

海外旅行は、企画旅行の取扱いが増加したものの、中国への業務渡航の取扱いが鈍化傾向にあり、取扱高は前年同月比 90.3%となりました。

国内旅行は、団体旅行の取扱いが減少し、取扱高は前年同月比 90.5%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年 同月取扱高	2019 年 同月比
海外旅行	15,145,705	10,954,901	138.3%	20,122,074	75.3%
国内旅行	15,037,805	13,580,081	110.7%	13,711,205	109.7%
訪日旅行	405,930	228,359	177.8%	263,156	154.3%
合 計	30,589,440	24,763,342	123.5%	34,096,435	89.7%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724